

■ 脱政治化・ポピュリズム・熟議民主主義 ■

吉田 徹

北海道大学 公共政策大学院

yoshidat@juris.hokudai.ac.jp

# 民主主義（政治）の困難（1）

- 「民主主義とは、単に人民のための人民による人民の批判の言葉に過ぎない」

(O.Wilde, *The Soul of Man under Socialism*, 1891)

- ▶ 政治不信の拡大

Pharr&Putnam (2000) 「嫌われる民主主義」

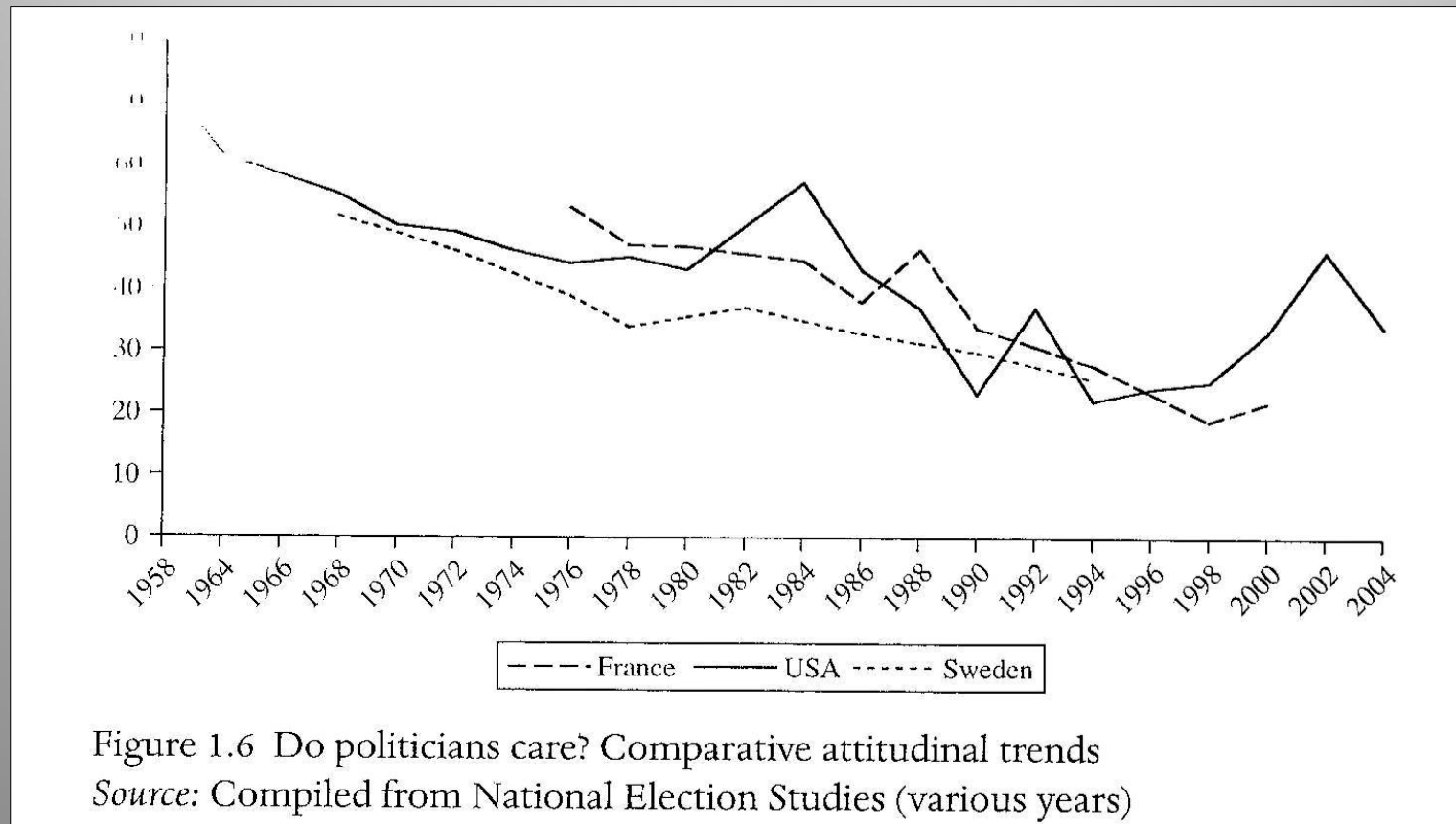
C.Crouch (2004) 「ポスト・デモクラシー」

C.Hay (2008) 「政治はなぜ嫌われるのか」

- 民主主義の＜拡散＞と同時に＜不満＞の拡大
  - ▶ 「外部」なき民主政の隘路

# 民主主義（政治）の困難（2）

- 「政治家は有権者のことを気にかけているか？」



(出典:Hay, 2004:30)

## 民主主義（政治）の困難（3）

- 日本のデータ

- ▶「政府を信頼していない」：69.0%
- ▶「議会を信頼していない」：76.7%
- ▶「政党を信頼していない」：81.7%
- ▶「行政を信頼しないない」：67.2%

(World Values Survey,2005 not very much+not at allの総計)

- 規範的課題というよりは実践的課題...  
政策は「信頼」によって担保されるため.

## 民主主義（政治）の困難（4）

- 民主主義（政治）の両極：  
「決定」（システム）－「熟議」（理念）
  - ▶ 「決められない政治」に対する不満（統治の危機）
  - ▶ 「熟議」の主体に対する懐疑（代表制の危機）
- 背景には70年代からの「脱政治化」プロセス：
  - ▶ 「入力」の抑制と「出力」の最大化

# 脱政治化の過程（1）

- 「政治的過重負担（overload）」仮説  
（Crozier, Huntington & Watanuki, 1975）
- 民主政の「逆機能」＝福祉国家＋ケインジニアズムの危機
  - ▶ 政治家「再選可能性」＋有権者「生活水準向上」  
＝財政赤字の拡大
  - ▶ 官僚「縄張り・権限争い・予算獲得競争・縦割」  
＝行政機構の非効率
- 「新自由主義」的な政治リンケージを準備

## 脱政治化の過程（2）

- 解決策：公共政策の脱政治化（「政治的ビジネス・サイクル」からの脱却）
- ▶ 政策：完全雇用、社会保障、再分配の分離（1980's）  
中央銀行の独立（1990's）  
NPMとベンチマーキング化（2000's）
- ▶ 統治機構の変容：「非多数派機関」（G.Majone）  
「政府なきガバナンス」（J.Rosenau）
- ▶ 統治原理：「民営化されたケインズ主義」（C.Crouch）
- 党派性と政治の棄却による信任・効率の向上策
- 「新自由主義」が持った普遍性

# 脱政治化の過程 (3)

	政治的加重負担説	官僚的加重負担・NPM論	合理的期待仮説	グローバル化理論 (開放経済学)
想定	<ul style="list-style-type: none"> <li>・政府ロビイングを行うセクターの道具主義的合理性</li> <li>・有権者の経済的理由による道具主義的合理性</li> <li>・利益団体と有権者の利益を優先する政党の道具主義的合理性</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・官僚の道具的合理性</li> <li>・官僚による権限と予算に関する情報の独占</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・政治家の道具的合理性</li> <li>・政治家の時差的なインフレ選好</li> <li>・経済の最適的な運営に関して有権者が有する情報の欠落</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・開放的で完全に統合された世界市場の存在</li> <li>・資本の（利益最大化を目指す）道具的合理性</li> <li>・資本の（ほぼ）完全な自由移動</li> </ul>
診断と処方箋	<ul style="list-style-type: none"> <li>・政治的加重超過と統治不可能性</li> <li>・民主主義の危機</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・官僚的過剰供給と非効率性</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・政治家による金融政策とインフレ期待</li> <li>・政治家は物価安定（もしくはデフレ策）を達成できない</li> <li>・政治的ビジネス・サイクル</li> <li>・高インフレと失業率の出現</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・競争力の確保</li> <li>・高い税負担と経済規制から資本と短期投資家は「逃避」する</li> <li>・グローバル化時代で社民主義的政策は維持できない</li> </ul>
政策的立場	<ul style="list-style-type: none"> <li>・理論上の新自由主義</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「新公共経営論」(NPM)</li> <li>・市場化</li> <li>・民営化</li> <li>・市場的目標へのインセンティブ強化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・制度化されたマネタリズムもしくはネオマネタリズム</li> <li>・中央銀行の独立</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資本と短期投資家の選好への順応</li> <li>・規制緩和と市場化</li> <li>・強制的な新自由主義</li> </ul>
政治的帰結	<ul style="list-style-type: none"> <li>・民主的期待の縮小</li> <li>・「ポスト民主制」政治</li> <li>・政治的信頼の低下</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「ポスト公共サービス・エートス」の高まり</li> <li>・「パブリックの凋落」(D.Marquand)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・金融政策の専門化</li> <li>・金融政策の脱政治化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・経済社会政策の専門化（競争力確保からの要請）</li> <li>・有権者よりも資本の選好への順応</li> </ul>



# 脱政治化の問題

- 公共政策に対する異議、討議、内省の領域が再定義される。
- 「政治」の存在理由とは：
  - 1) 集合行為によるpublic good(s)の提供/獲得
  - 2) 選択的な行為による対象への働きかけ
    - ▶ 「宿命」に対置される（集団的）自己決定のプロセス  
(A.Gamble)
- 脱政治化はプロセスそのものの否定
- 「出力による正当性」は持続可能ではない

# 「民主主義」の逆襲？（1）

- 「異議申し立て」：ポピュリズムの時代？

- ▶ Populus ~ People ~ Populism

- ▶ ①「エリートの告発」②「サイレント・マジョリティ」③「“ハートランド”の希求」

- ▶ 民主政治における利益媒介構造が揺らぐ際に生起

...但しシステムに大きな負荷がかかる.共同体を分断しての動員手段であるため、必ずしも持続可能ではない.

# 「民主主義」の逆襲？（2）

- 「討議」：民主主義の「熟議論的転回」？  
(J.S.Dryzek)

- ▶ 選好の変容による反省性の埋め込み
- ▶ 「集計民主主義」に対する「プロセス」の重視
- ▶ 意思決定の「手段」と「目的」の等価化

...但し「熟議」そのものは政策的帰結の正しさを担保しない. 場合によっては分極化や「サバルタン」を創出する.

# 政治リンケージを再考する

- ポピュリズムも参加民主主義も同根  
e.g. 「指導者民主主義」 <—> 「ソヴィエト」  
「新右翼」 <—> 「緑の党」  
「(ネオ)ポピュリズム」 <—> 「オキュパイ運動」
- 民主主義の機能不全に対する応答
  - ▶ 違いは「結束」か「架橋」かのリンケージの違い
  - ▶ 「リンケージ・モード」再構築へと拡張できるか
- 「国家は生活の小さな問題を解決するには大きすぎ、大きな問題を処理するには小さすぎる」 (D.Bell)
  - ▶ 民主主義における「補完性の原理」の模索の必要性

# 「政治化」の方途

- 政治化の契機
  - ▶ 「自然（である）」から「作為（する）」
  - ▶ 「私的領域」から「公的領域」への転移
  - ▶ 「公的領域」アリーナの複数化
- 「民主主義は消耗し疲弊し自殺する。今まで自殺しなかった民主主義はない」 (J.Adams,1814)
- 「ミュンヒハウゼンのトリレンマ」を超える駆動力を民主政は獲得できるか。
  - ▶ 「内省」としての民主政の潜在力